

地方開催
企画
第3弾

スマート・プランニング 実践セミナー

@高知市 を開催

平成31年1月11日(金)、土木学会土木計画学研究委員会「スマート・プランニング研究小委員会」主催によるスマート・プランニング実践セミナー(@高知市)が開催されました。

地方開催企画の第3弾となる今回のセミナーは、知見を深める午前の部と実践的なスキルを身につける午後の部で構成され、参加者一同は一日を通して、スマプラ実践に必要なスキル習得に勤めました。



午前の部

スマート・プランニングを推進する社会的背景から具体的な適用の場面に至る基礎的な知識を学ぶことを目的として、概要の説明や実際に適用された事例(岡山市、神戸市)紹介を実施。

スマート・プランニング概要説明

まず、国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室の関信郎氏より、新しい施策の実施に対し、その効果を定量的に計るための指標を開発・提供し、市町村等の自治体における目標設定を支援する方法としてスマート・プランニングの研究を推進していることや、近年、あらゆる場所で24時間365日のデータを観測、入手することができるようになってきている、また、手法を適用するため、関連する各種手引きを作成、公開するといった各種バックアップも充実してきていることなど、スマート・プランニングの推進に至る背景や実践のために環境整備について説明がありました。



関氏

事例紹介

続いて、岡山市都市整備局都市・交通部交通政策課の湯浅聡文氏と、神戸市住宅都市局都心再整備本部都心再整備部都心三宮再整備課の岡平孝司氏より、各市でのスマート・プランニングの実践事例について紹介がありました。岡山市と神戸市ではそれぞれプローブパーソン調査の実施やパーソントリップ調査結果の活用などによる歩行者の回遊行動に着目したシミュレーションを実践しています。事例紹介では、各市が抱える問題・課題に対して実施したスマート・プランニングの具体的な調査の方法から結果の概要に至るまでの説明をいただき、実践している自治体ならではの視点による具体的な課題や留意点等が参加者にも共有されました。



岡山市 湯浅氏



神戸市 岡平氏

午後の部

スマート・プランニングの実践的なスキル習得を目標に、まち歩きを通じた高知市の中心市街地の魅力や課題を発見するまちなか見学会、学識経験者による基調講演、グループに分かれてスマート・プランニングの調査計画立案を体験するワークショップを実施。

挨拶

まず、東京大学大学院工学系研究科の羽藤英二教授より、今や、都市計画にGPSやWi-Fiなどのデータを使うことで、どういう事業でどんな効果があるかわかる時代になっている、まち歩きを通じて高知のまちのいいところを見ながら、どういうやり方ならスマート・プランニングを使えそうか、感触を掴んでほしいとの挨拶をいただきました。

高知市取組概要説明・まちなか見学会

高知市中心市街地活性化基本計画について説明をいただいた後、高知城歴史博物館、オーテピア、高知よさこい情報交流館などの各種施設や帯屋町筋、はりまや橋商店街などのアーケード街など、参加者一同で中心市街地を約1時間かけて見学しました。



基調講演

基調講演では、東京大学大学院の羽藤英二教授、高知大学の坂本淳講師、高知工科大学の西内裕晶講師よりご講演を賜りました。各先生からはまちなか見学会を通じた高知市中心市街地に関する気付きやそれぞれの最新の研究事例についてご説明があり、参加者一同、まちづくりやスマート・プランニングを検討、実践していく上での様々なヒントをいただきました。



羽藤教授



坂本講師



西内講師

ワークショップ

「スマート・プランニングの調査計画を立案しよう(高知市を事例に)」と題して、高知市中心部におけるまちづくりの課題に対する施策の提案とスマート・プランニングを用いた調査計画の立案について班に分かれて意見交換と発表を行い、先生方に講評をいただきました。



グループワーク

発表



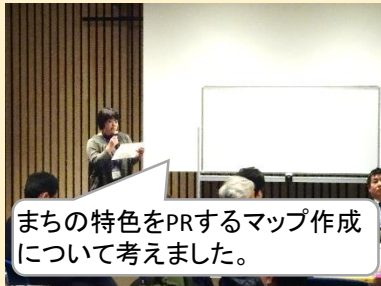
駐車場、駐輪場整備について考えました。



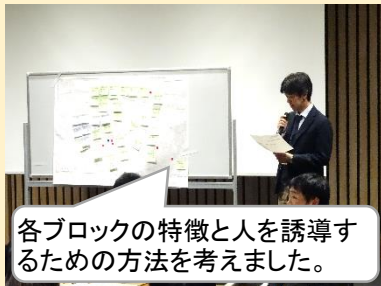
観光客や若者、子育て支援、イベントについて考えました。



津波時など水平避難、垂直避難についても考えました。



まちの特色をPRするマップ作成について考えました。



各ブロックの特徴と人を誘導するための方法を考えました。

講評



坂本先生
高知の外の人の意見と中の人の意見があって面白い。魅力があれば人を歩かせることもできる。



西内先生
回遊性を考える上では自分自身が歩くことが大事。歩いている人から情報を収集できるような仕組みがあっても良いのでは。



羽藤先生
高知は施設が充実していると感じた人も多いのではないかな。魅力を活かす取組とその評価が必要。防災の視点もある。

ワークショップでスマプラを疑似体験、理解を深める

甲府市、山形市に続き第3弾の地方開催企画となる本セミナーには、高知市、高知県をはじめ四国全域から集まった行政関係者26名、大学関係者3名、コンサルタント会社等11名の合計40名が参加しました。高知県内外からさまざまな職種のメンバーが集まり、スマート・プランニングについて、それぞれの関心事項や疑問点を話し合いながら調査計画を立案することで、スマート・プランニングに対する理解を深めていく様子が見られました。